

## 兵庫県ビームライン課題申請書

1. 申請カテゴリー	I	A
2. 申請代表者の所属、氏名		
・所属		
・氏名		
3. 実験責任者の所属、氏名		
・所属		
・氏名		
4. 成果形態	(1) 成果公開	(2) 成果専有
5. 申請回数	新規	_____回目
6. 課題名称		
7. 測定方法		
8. 利用希望ビームライン (○で囲む) (1) BL08B2、(2) BL24XU、(3) 両方		
9. 所要ハーフ数	_____ハーフ: 1ハーフ=12時間	
10. 日程希望		
・希望のサイクル		
・希望サイクル中での実験可能期間		
11. 希望する蓄積リングの運転モード(あれば記入ください)		
12. ビームライン側に要望する装置、器具 (ハード的な要望)		
13. ビームライン側に要望するサポート内容 (ソフト的な要望)		

14. 測定試料の物質名、数量、形態、危険性、要する場合の安全対策	
・ 物質名	
・ 数量	
・ 形態	
・ 危険性	
・ 安全対策	
15. ユーザー持込品	
(1) 実験用器具等	
(2) 高圧ガス	
・ ガスの種類および容量	
16. 使用を希望するビームラインユーティリティ	
・ 電源容量	
・ 循環水	
循環水利用の場合	使用量_____

17. 課題内容の概要

18. 提案理由（該当分野における位置づけと重要性）

19. 利用課題における取組みの状況

20. 課題としての具体的な達成目標、目標が達成された場合に得られる効果

※利用課題が目指す具体的な研究目標

<p>2 1. 課題目標を達成するための方法および放射光による測定を必要とする理由</p>
<p>2 2. 複数機関が共同実験者である場合の役割分担</p>
<p>2 3. 準備状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題申請に関わる準備状況の説明</li>   <li>・ これまでに実施した課題、あるいは他での申請中の課題との関係 (SPring-8 の他のビームラインを含む)</li>   <li>・ SPring-8 以外の放射光施設での実験経験があれば、その実験と当該課題との関係</li>   <li>・ 放射光研究センター関係者との打合せ状況</li> </ul>

24. 実験の方法の説明
25. 当該課題に関するこれまでの成果報告の実績
26. 成果公開課題の場合、公開方法と公開までの予定期間
・ 公開方法
・ 公開までの予定期間
27. 所要シフト数の算出根拠
28. 成果専有の場合、所要シフト数から算出した成果専有料（自己申告） ただし、1時間あたりの成果専有料は39,000円とする。